



設立に向けた準備が進んでいます

まちづくり推進隊とは、まちづくり活動をしたい人が自主的に集まる、町を単位とする会員制の組織です。町民であれば誰でも会員になることができ、市から交付金を受けて、まちづくり活動を行うことができます。

7・8月に詫間町を除く6町で、自治会長や各種団体の代表者が参加し、地域内分権推進事業について説明会が開催されました。説明会での内容を一部紹介します。

まちづくり推進隊の入会・退会

まちづくり活動に参加したい個人が申し込む会員制の組織で、その町に住む人なら誰でも入会することができ、退会も自由です。したがって「自治会長や各種団体の代表者は、入会しなければならぬ」ということはありません。しかし、市民主体で自主的にまちづくり活動を行う団体です。自治会長などの役職に関係なく町民のひとりとしてできる範囲で活動にご協力ください。

体育協会や文化協会など 既存団体との関係性

まちづくり推進隊は、市民主体のまちづくり活動を推進するため新しく組織化をお願いしている団体です。既存団体と同じように、理事会や総会で事業計画を策定し、交付金をどのように使うか

独自に決定します。一定のルールの範囲内であれば、事業計画や活動に制限はありませんので、独立性が保たれます。それぞれの町で、団体ごとのつながりや運営方法に違いがあるので一概には言えませんが、相互に協力できる活動は協力してほしいと考えています。

地域内分権推進交付金の使い方

理事会や総会で作成した事業計画に基づき、市の予算の範囲内で交付金を受けることができます。市から受けた交付金は、既存団体の活動に使うことは認められません。しかし、既存団体の活動と一緒にまちづくり推進隊の自主事業が行われる場合は、自主事業部分についてのみ、交付金を使うことができます。

既存団体に対する補助金制度は今までどおり維持し変更していませんので、新しく「まちづくり推進隊」に対する交付金制度ができたとして理解してください。

▼問い合わせ
地域内分権推進課 ☎73・3012

まちづくり推進隊説明会

会員募集!

まちづくり推進隊説明会では、会員を募集しています。会費は無料で、詫間町民であれば誰でも会員になれます。一緒にまちづくり活動をはじめませんか。

▼申し込み・問い合わせ
まちづくり推進隊説明会 ☎83・3639

三豊市職員募集

募集人数

【試験区分】

- ・土木（高校卒業程度） 1人程度
- ・建築（高校卒業程度） 1人程度
- ・建築（大学卒業程度） 1人程度
- ・U・I・ターナー定住者（大学卒業程度） 2人程度

◆第一次試験日

10月21日（日）

◆試験場所

受験票送付時に通知

◆申し込み期間

9月18日（火）～28日（金）（土・日は除く）

◆提出場所

人事課

※郵送可（9月28日必着）

受験申込書・募集要項は、人事課および各支所にあります。

また、市ホームページからもダウンロードできます。

※受験資格等の詳細については、募集要項をご覧ください。

▼申し込み・問い合わせ

人事課 ☎73・3002

ありがとうございました

法務大臣感謝状

8月21日、任期満了により人権擁護委員を退任された香川徹男さん（財田町）と小野静子さん（豊中町）に高松法務局観音寺支局長から法務大臣感謝状が贈呈されました。

締切間近! チャイルドシートの助成申請

チャイルドシート着用推進助成金の支給は、9月28日（金）が最終締め切りです。助成申請をお忘れなく!

対象

- ・市内に住所を有する人
- ・平成24年3月31日までに生まれた満6歳未満の子どもがいる世帯

支給額

子ども1人あたり1回

購入金額の2分の1（上限1万円）

申し込み期限

9月28日（金）

問い合わせ

総務課 ☎73・3000

秋の全国交通安全運動

9月21日（金）から30日（日）までの10日間、全国一斉に「秋の全国交通安全運動」が行われます。

県では「あなたが手本 ルールとマナーが合言葉」をスローガンに、運動を実施します。

かけがえのない命を守るため、シートベルトやチャイルドシートの正しい着用を心がけましょう。

▼問い合わせ 総務課 ☎73・3000

第2次「三豊市地域福祉計画」を策定します

7月18日、第1回「三豊市地域福祉計画策定委員会」が開催されました。

すべての市民が住み慣れた地域で、助け合い支え合い安心した生活が送れるよう、地域福祉の推進を図るための計画を策定することを目的

自主防災力を強化するための補助金制度はじまる

地域における防災力を強化し、災害時の被害の防止と軽減を図るため、次のとおり新たに補助制度を制定しました。期間は平成27年度までの予定です。

地域防災訓練支援事業

実践的な防災訓練を小学校区単位で実施する自主防災組織に、最大50万円の訓練費を補助（1回限り）

防災士育成支援事業

NPO法人日本防災士機構が認証登録する防災士資格の取得に必要な研修受講経費を補助（一人12,000円）

▼申し込み・問い合わせ

総務課 ☎73・3000

9月9日は「救急の日」



救急医療や救急業務に対する正しい理解と認識を深めるため、毎年9月9日を「救急の日」と定め、この日を含む一週間を「救急医療週間」としています。この機会に、救急車の正しい利用方法や応急処置の必要性について考えてみましょう。

◆人工呼吸や止血など、正しい応急手当を身に付けましょう

◆いつでも相談できるかかりつけの医師を持ちましょう

◆安易な救急車の利用はやめましょう

▼問い合わせ

三観広域北消防署 ☎72・2119

的に、平成25年3月末までに検討を重ね、策定していきます。

第1回は、会長および副会長の選出に引き続き、「市民意識アンケート調査」の内容確認など、策定委員全員で情報の共有を図り、関係機関との連携等について協議しました。

市地域福祉計画策定委員会委員

◎会長 ○副会長（敬称略）

所属等	氏名
市自治会連合会会長	江頭 昌道
市自治会連合会副会長	大西 八起
市自治会連合会副会長	今川 精一
特別養護老人ホームにお荘施設長	安藤 強
市社会福祉協議会事務局長	白川 清秀
老人クラブ連合会会長	早馬 賢至
市身体障害者協会会長	岡田 祐輔
市立豊中幼稚園長	藤根 直身
市立高瀬中央保育所長	永田 洋子
市愛育会会長	田尾 弘子
ボランティア協議会代表	資延 吉徳
山本地区社会福祉協議会代表	三好 康則
仁尾地区社会福祉協議会会長	植岡 澤江
市民生委員児童委員協議会連合会会長	◎前田 昭文
四国学院大学専門学校福祉学科長	○藤村 仁美

▼問い合わせ 福祉課 ☎73・3015

